



電波時計（報時付掛時計）取扱説明書

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正します
- 毎正時と30分にメロディやチャイム、鐘の音で時刻をお知らせします
- 暗くなると文字盤を照明します

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元

リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無償保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有償での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

This product is intended for the Japanese market.

Service and technical support for this product are available only within Japan.

(Y1312)

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃ *結露しないこと			
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度	秒針	±1秒	
	標準電波を受信しない場合	平均月差	±20秒（温度が5～35℃のときのクォーツ精度）	
使用電池	表示用：単2形アルカリ乾電池 JIS規格 LR14 1.5V	4個		
	内蔵：リチウム電池 CR2032	1個		
電池寿命	表示用：照明を1日8時間使用	明るさ「強」：約1年 「弱」：約1.5年	照明不使用 約3年	
	*標準電波の受信に成功し、報時を音量中位で17回/日使用したとき。			
	内蔵：5年以上	*通常では電池を交換する必要がありません。		
報時機能	毎正時、30分に報時			
報時精度	表示時刻に対して±1秒			
報時音	電子音 選択方式			
ON/OFF	スライドスイッチ			
自動鳴り止め	明暗センサーと連動して暗所停止			
音量調節	ロータリー式ボリューム			
報時音モニター	あり			
照明機能	明暗センサーに連動して暗所で点灯			
明るさ調節	強弱 2段階			
光源	LED			
暗所秒針停止	明暗センサーと連動して12時位置に停止			
電池交換時期	秒針が常時12時位置に停止			
お知らせ機能				
電波受信機能	標準電波受信による時刻修正			
受信局	福島局/九州局 自動選択			
受信ON/OFF	ボタン操作			
受信回数	最少	1日1回	最多	1日12回

標準電波受信開始時刻条件	回数	開始時刻
▶受信成功から72時間以内の場合	1～3回/日	AM 2:16:40、AM 3:16:40、AM 4:16:40
▶連続72時間以上受信に失敗している場合	12回/日	奇数時の16分40秒 例 AM 1:16:40、AM 3:16:40など
▶初めから受信に失敗している場合		
▶手動で時刻合わせをした場合		

- 製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品	単2形アルカリ乾電池	4個	リチウム電池（内蔵）	1個	木ねじ	1個
	取付金具	1個	くぎ	4個		
	取扱説明書	本書	保証書	1枚		

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**

(フリーダイヤル)

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お問い合わせに際しては、製品番号(型番)「4MN493」をお伝えください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してはなら責任を負いかねますのでご了承ください。

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

当社はCITIZENブランドライセンス商品の掛時計、置き時計、めざまし時計、温度湿度計、ストップウォッチを企画・製造・販売しています。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明

⊘は、禁止（してはいけないこと）を示しています。

⓪は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

⚠ **必ず守る** 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

⚠ **禁止** 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池に傷をつけたり、分解したりしない。
- 電池を加熱したり、火の中に入れてたりしない。

⚠ **禁止** 電池から液漏れが起きてしまったときは、素手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。

アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

●電池を外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠ **注意** 傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

⚠ **禁止** 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

⚠ **禁止** 分解や改造をしない
故障の原因になります。

⚠ **禁止** 落としたり、たたいたりして衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

⚠ **禁止** めれた手で触らない
故障や誤作動の原因になります。

⚠ **禁止** 下記のような場所では使わない。

⚠ **禁止** 部材の変形、劣化、変色、性能の低下や故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生する所。
- 車中や船舶、工事現場など振動の激しい所。
- プールや温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など、多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接接触させておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手の届かない所に置く。

電池の寿命について

●付属の電池は、工場出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池、製品の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 電池と本体を分別して廃棄してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(http://jijy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

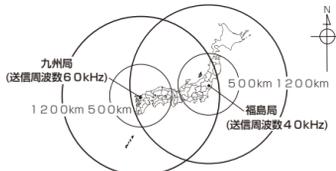
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でのご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。電波受信機能をONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高压線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



電池の交換時期お知らせ機能…………… 秒針が常時秒針が停止する。

電池の交換時期になると、明るい所でも秒針が12時位置に停止したままになります。そのまま放置すると電池からの液漏れや誤作動の原因になりますので、このような状態になったときは、速やかに新品の電池にすべて交換してください。

※電池の交換時期になると報時と照明機能が停止します。

注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに新品の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 照明の使いかたに応じて定期的に交換する。

明るさ選択「強」：約1年 「弱」：約1.5年 「消す」：約3年

- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。

推奨される電池

- ①電池に「月一年」で表示されている「使用推奨期限」が電池交換時より4年以上先の年月表示があるもの
例：2014年2月に交換→「02-2018」より先の「使用推奨期限」表示がある電池
- ② 使用するすべての電池が同じメーカーで、同一の「使用推奨期限」のもの
- ③ 未使用の電池
- ④ 単2形アルカリ乾電池

「使用推奨期限」は、JIS規格に定められた性能を保証できる保管期限のことです。使用推奨期限を過ぎた電池も使うことができますが、本来の性能を発揮することができません。電池は未使用であっても時間とともに徐々に性能が落ちていくためです（自然劣化）。

明暗センサーのはたらき…………… 暗くなると秒針停止、自動照明

明暗センサーが暗いと判別した場合、受信表示ランプが消灯し、秒針を12時位置で停止させ、報時が鳴らなくなります。また、明るさ選択スイッチが「強」または「弱」のときは、照明を点灯させます。昼間や照明器具により照明されているときでも、明るさが不足するとセンサーが動きまわります。

静電気の影響について

静電気により、誤作動をすることがあります。このようなときには、強制受信ボタンを押してください。



